



当院医師、内分泌・代謝内科長  
長山浩士 医師が「自己血糖測定記録の  
コンピューターへの取り組みによる活用」で  
浜松市医療奨励賞をいただきました。



基本理念  
安全・安心な、地域に信頼される病院

〒432-8580 浜松市中区富塚町328  
TEL 053 (453) 7111  
FAX 053 (452) 9217  
URL <http://www.hmedc.or.jp>  
E-Mail [iryocenter@hmedc.or.jp](mailto:iryocenter@hmedc.or.jp)  
発行:浜松医療センター

～ ご自由にお持ちください ～

## 【最新型CT “Revolution CT”稼動開始】

2015年3月16日より当院ではGEヘルスケア社製の最新型CT “Revolution CT”が稼動を始めました。

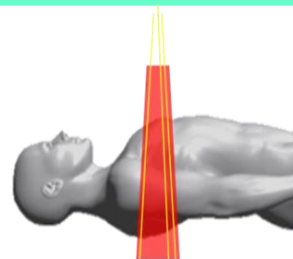
このCTの主な特長は

- 1回転で16cmの範囲の撮影が可能
- 心臓を0.28秒で撮影
- 全身領域で高解像度な画像
- 最新技術によるさらなる低被ばくとなっています。

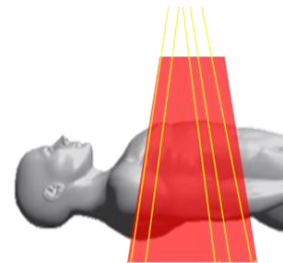


### 【1回転で16cmの範囲の撮影が可能】とは？

図のように1度に撮影できる範囲が4倍  
となったことで、全身などの広範囲をより高  
速に撮影することが可能です。



従来型CT装置 4cm

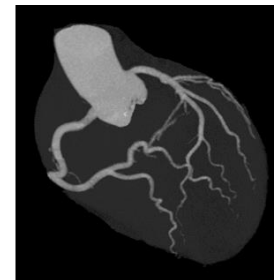
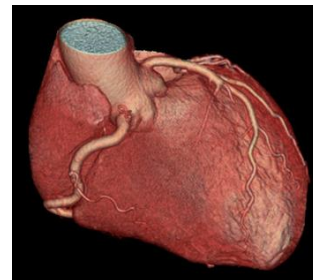


Revolution CT 16cm

### 【心臓を0.28秒で撮影】とは？

心臓も16cmの幅に収まるため、最速の1回  
転0.28秒で撮影が可能になりました。

よって従来型CTでは撮影の難しかった心拍  
数の高い患者様や不整脈のある患者様の撮  
影が容易になり、かつ高画質でのご提供が可  
能となりました。



1号館2階 診療放射線技術科

# 頭腹部血管撮影装置が新しくなりました

平成27年2月、当院の頭腹部血管撮影装置が**県西部地区初**となる、最新鋭機器(Siemens社 Artis Q BA Twin)になりました。

本装置の特徴は、新世代X線管を搭載し、高精細な画像と被ばく低減を両立しています。画像検出器は、従来の4倍(65,536諧調)のデータ検出を実現し、高精細コーンビームCTをはじめとした3Dイメージングにおけるさらなる画質向上や、新しいガイディングアプリケーションが搭載され、脳血管や胸部・腹部・骨盤・下肢領域の診断及び治療の精度向上に大きな力を発揮します。バイプレーンシステムを有し、一回の造影で同時に2方向撮影が可能のため検査時間、被ばく線量、造影剤の低減により、患者負担を軽減します。

ソフトウェアとしては、被ばく低減プログラム「CARE」、画像検出器のための高画質を実現するアプリケーションを統合した画像処理エンジン「CLEAR」の2つにより低被ばくと高画質を高次元で両立します。



当院導入の最新鋭機器  
(Siemens社 Artis Q BA Twin)

1号館2階 一般血管撮影室



## 患者図書室 さなるの泉 NEWS



患者図書室 さなるの泉では医学書だけでなく、一般書や児童書の取り扱いも始めました。

当院に入院中の方だけでなく、外来の患者さんへの当日貸出をしています。(患者番号の分かるものを持参してください。)

1号館2階 患者図書室

### 院外処方箋コーナー 廃止のお知らせ

院外処方箋コーナー(1号館1階)は平成27年5月29日(金)に廃止します。

今後は、直接かかりつけ薬局に処方箋を持参してください。